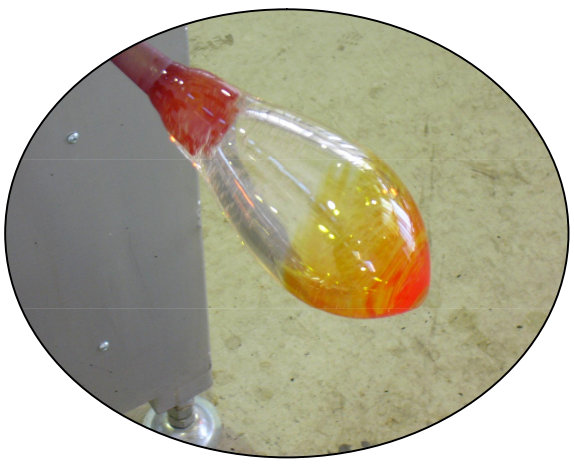
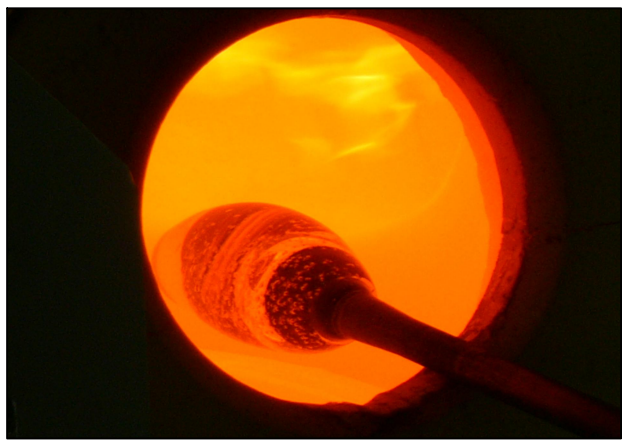
ガラスの“夢”プロジェクト

① ガラスっておもしろいよ！

ガラス造形作家の実演を見学し、ガラスの性質について楽しく学びます。





② ねんどで　てがたをとろう！

遊びながら粘土に慣れ、手形を押す練習をします。

うまく　おせたかな？
ちからをいれて　ギュ～～～ッと
ゆっくり　おしつけてね！
きれいにおせるよう、せんせいのお
はなしをよくきいてね！

コップー

じゅんばんが　くるまで、
ねんどであそんだり、
れんしゅうしながら
まってね！

慣れてきたらいよいよ本番！順番に１５cm×１５cmの枠にはめた粘土に手形を押します。

③ なまえをいれよう！

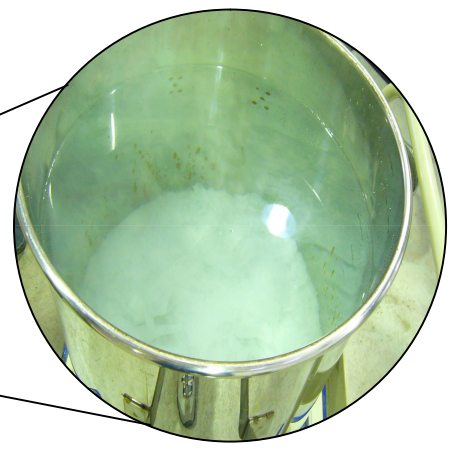
手形を押したら、粘土の空いた部分に自分で名前を彫ります。
きららビーチの貝殻などを
使って周りに自分のアイデ
アで模様をつけたら完成です。

～～子どもたちの作業はこれで終了です～

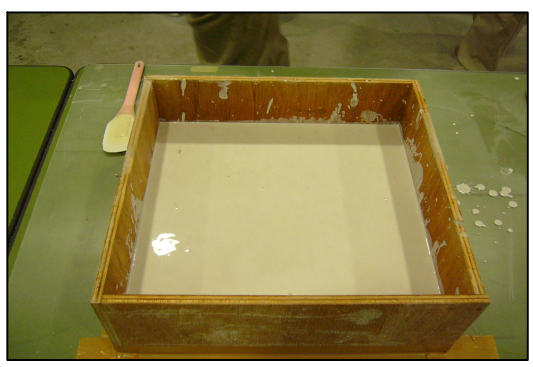
④　手形がガラスのモニュメントになるまで！

※石膏の型に詰めるガラスをあらかじめ作ります。

１２００度でどろどろに熔けたガラスを水の中に流し込んで、細かい粒状のガラスにします。

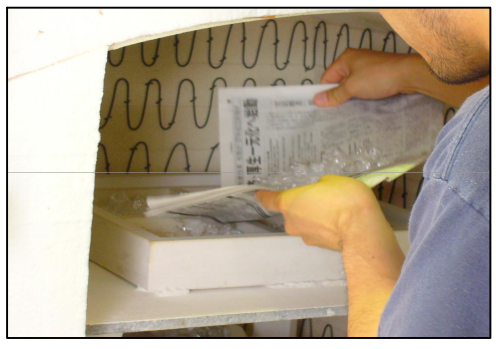


今回のプロジェクトで使うガラスの量は１トン以上になります。



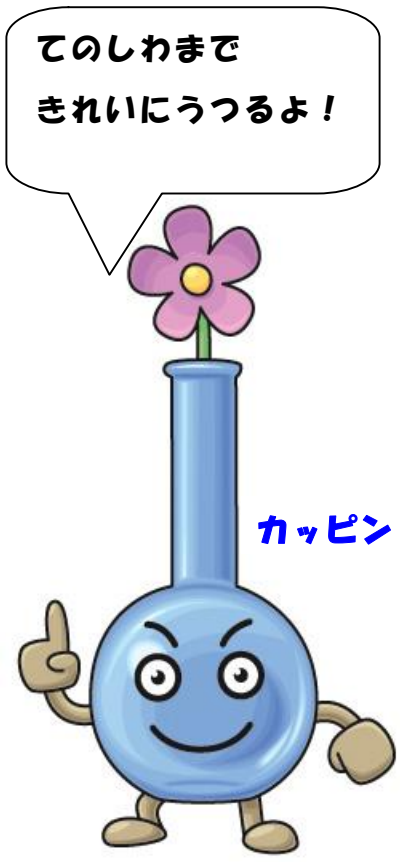
粘土の型を４つ並べて木枠で囲み、石膏を流し込み、固めます。

石膏が固まったら粘土を取り出してきれいにします。



あらかじめ作っておいたガラスの体積を量り、型の中に丁寧に敷き詰めます。

880℃の電気炉の中で焼成した後、約1週間かけて温度を下げてから取り出します。



子どもたちの手形を取ってから

約10日後にようやく「ガラスの手形」が完成します！

「ガラスの手形」が全てできあがったら、フレームにはめ込み、組み立てます。

11月の国民文化祭には、子どもたちの「手形」を羽にみたて、未来へ羽ばたく翼をイメージした大きなガラスのモニュメントが完成します。

完成後鑑賞していただけるようにきららガラス未来館前庭に設置します。